



中1で理想の街をつくりデザイン思考を学ぶ

## 東工大で欧米の研究者とともに学んだ経験 工学の教育手法が女子の創造性を開花する

### 注目ポイント

- 1 学びと実社会のつながりを理解させ、学習姿勢を能動的に。
- 2 工学という学問の特性を生かした同校独自の「創造性教育」。
- 3 最終目的は「生きたい人生を自ら実現できる女性」の育成。

### 研究者時代の経験を生かして 新時代の教育を追求

「日本の教育に課題があるとすれば、学びの一つひとつを実社会で活用できる形に昇華できていないこと。生徒が『なぜ、勉強しなくてはいけないのか?』と思っているとするならば、それは教員側の責任。今、学んでいることにはどんな意味があつて、世の中とどのように結びついていくのか、それを明確にしてあげたい」と語る、瀧野川女子学園の山口龍介副校長。山口副校長は東京工業大学大学院でロボット創造学と経営を学んできた人物だ。在学中はロボット工学の世界的権威である廣瀬茂男氏の研究室に所属。欧米の一流大学から同研究室をめざして留

学していた優秀な学生らとともに研究に勤しんでいた。「彼らを見ていて、欧米の教育の先進性に驚かされませんでした。知識や専門性があるだけでなく、それらをいかにビジネスにつなげていくかを考えようとする姿勢が身につけていた。そもそも工学は、社会の人びとを幸せにするために新しいものを生み出すための学問です。そのためには、世の中のことをよく見ていなければならぬし、今ないものを生むことは、新たなビジネスにつながる」と山口副校長。当時の気づきは、そのまま同校の教育改革の礎となつている。「我々の改革は、特定の科目を強化するのではなく、勉強のやり方を根本から変えて実社会で使える力をつけること。その最たるものが『創造性教育』です」。

### ないものは自分たちでつくる! 起業家精神を育む学び

「創造性教育」は、創造性と起業家精神を育み、世の中に新しい商品や新しい仕事を生み出すことのできる女性を育てることを目的とした同校が誇る学びだ。中高全学年の力キ

ュラムに組み込まれており、週1コマ(高2のみ週2コマ)、学年ごとに設定されたテーマに取り組み。中1のテーマは「理想の街を創ろう」。5人ほどのチームでフィールドワークで見た実在する地域や建物を参考に、アイデアをカタチにする。この時、自分たちの理想だけでなく、誰にとつてより良い街にしたいのかを意識。「自分がやりたいこと、世の中から望まれること、自分にできること。この3つを同時にかなえることができれば、それは十分に仕事になりうる。中1からこうした考え方を養うことで、その後の学習が実りあるものになる」と山口副校長。

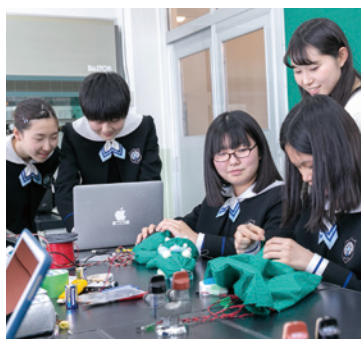
もう一つ、独自設置科目として、中1から「情報」を必修とし、プログラミング教育を行っている。中1の終わりにはゲームのプログラミングができるほどに上達。この知識を土台に中2の創造性教育では、「エンターテイメントロボットコンテスト」として、ロボット作りに挑む。山口副校長は「この取り組みでは、ロボットの機構を学ぶよりも先に、どんなロボットを作りたいかを一番に考えます。何かを生み出すという時、どうすればできるのかを考える実践することが重要。試行錯誤を重

ね、世にないものをゼロから作る。その積み重ねが創造性と起業家精神を育みます」と語る。

### 瀧野川女子学園は 新しい自分に出会える学校

「工学的なアプローチは女子教育に非常にマッチしている」と山口副校長。「身の回りには『こうなったらいいのにな』と思うことがたくさんある。女性の方がそうしたものに気づきやすいようです。気づきをカタチにできる技術や思考力があれば、新しいビジネスが生まれる。工学的思考を通じて、仕事を、ひいては自分の人生をつくり、新しい世の中をつくっていつてもらいたい。これが私たちの願いです」。

同校の生徒は、目の前の学びに夢中だ。中学から同校で学ぶある生徒は、高1になってから、次のように語った。「瀧野川女子に入ってから、毎日のように私は新しい私と出会う。自分にはこんなことができるんだ、こんな考え方もできるんだと、自分の変化や成長に気づき、嬉しくてたまらないのです」。



プログラミングを応用したロボット製作

### SCHOOL DATA

- 設立 1926年
- 併設校 瀧野川女子学園高等学校
- 生徒数 (中高)404名
- クラス編成 14~15名
- 授業時間 8:40~15:10 (土)~12:30

- 海外交流校 有
- 帰国生入試 有
- 交通 上中里駅(JR京浜東北線)徒歩2分  
西ヶ原駅(東京メトロ南北線)徒歩8分  
駒込駅(JR山手線、東京メトロ南北線)徒歩12分

### 大学合格実績(過去3年間)

- 東京外国語、筑波、国際教養、東京都立、埼玉、東京女子医科(医)、東京理科、埼玉医科、女子栄養、東京農業、東京薬科、明治、中央、立教、青山学院、日本、東洋、専修、成蹊、獨協、明治学院、日本女子、武蔵野美術、女子美術など